



校門から(11/25)

# 木葉小便り

令和4年12月20日(火)発行  
文責 校長 吉野 新吾

## 学びのある学校行事になりました

12月9日(金)「しっかりと教えていただき、自分たちでできることは行うことで、子供たちを“お客さん”にしない学校行事」として餅つきを行いました。当然のことながら、たくさんの保護者の力添えをいただき餅つきを無事終了することができました。学校職員の力だけではできない行事だと改めて感じました。

子供たちは、石臼の縁に杵を当てながらも、餅つき体験をすることができました。丸める作業では、なぜか白粉顔になっていました。

6月の田植え、10月の稲刈り、そして12月の餅つきをとおして、今年もおいしい餅が食べられることに感謝したいと思います。



米洗い



餅つき



お世話になった保護者の皆様

## PTA親子研修会 講演「年中夢求 ～24時間をデザインする～」

12月9日(金)熊本県立大津高校サッカー部総監督(宇城市教育長)の平岡和徳先生を講師としてPTA研修会を行いました。貴重な機会なので、5、6年生にも参加してもらいました。

“子供たちの気持ちを前向きにするためには、どんな言葉をかけたらいのかと「言葉配り」を大切にしている”平岡先生のユーモアを交えた講話は、大変好評でした。木葉小の子供たちに感じてほしい、特に印象に残った言葉を下に示します。

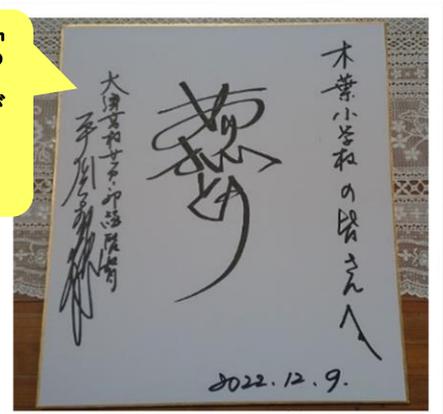


平岡総監督(宇城市教育長)



- ★「ありがとう」がたくさんあるクラスはいいクラス
- ★「一生懸命」が一番かっこいい!
- ★「笑顔」は人の力を引き出し、「奇跡」を起こす

「ありがとう」の文字が「夢」になっています。



平岡先生から色紙をいただきました。

お世話になりました。来年もよろしくお願ひします。

4月からあつという間の9ヶ月でした。「学校とは、子供が賢くなり、自信のつくところでなければならない」という想いの中で学校経営を進めてきました。木葉小学校の子供たちの成長を感じることができました。本当にお世話になりました。

